～「いのちとくらしの安全・安心」という組合員のねがいを実現します～

青森県民生協ニュース

組合員様へご報告

NO, 16
2025 年 3 月 12 日
組合員サービス課

古紙リサイクルで笑顔！「こども食堂応援キャンペーン」寄付金贈呈式が執り行われました。

- **贈 呈 式：2025 年 3 月 11 日　14：00～**
- **場　　所　：青森県県民福祉プラザ**
- **参 加 者：県民生協、コープあおもり、伊徳、伸和産業、社会福祉協議会**

期間、1 月 21 日～2 月 20 日までの古紙回収量は、178,439kg、前年比 106.1%となり、寄付金総額は 356,878 円となりました。

※県内初の支援活動は新聞にも取上げられました。

〇県民生協全店の古紙回収量

107,790ｋｇ

前年対比 107.6%

「子ども食堂」への寄付金

107,790 円

※伸和産業様でも、同額 107,790 円を寄付して下さいました。

組合員の皆様、ご協力ありがとうございました。社会福祉協議会を通して寄付させていただきました。

第48021号　（第三種郵便物認

寄付金を受け取った県社協の高杉金之助会長（左から3人目）と寄贈関係者ら

「こども食堂」の運営を支援

古紙回収量で35万円寄付

県内スーパー20店舗、県社協に

県内でスーパーを展開するコープあおもり（本部青森市）、県民生協（同）、伊徳（本社秋田県大館市）の3者と古紙リサイクル業の伸和産業（本社弘前市）は11日、約35万円を県社会福祉協議会に寄付した。備え付けの古紙回収ボックスに寄せられた古紙の量に応じて「こども食堂」に運営資金を贈る県内初の取り組みで、今回は10団体に渡される。

「古紙リサイクルで笑顔！こども食堂応援キャンペーン」と銘打ち、1月21日～2月20日の1カ月間、古紙を受け付けた。県内計20店にある回収ステーション（エコステ）に集まった古紙1キロにつきスーパー側が1円、伸和産業が1円の計2円を寄付金に充てた。

伸和産業によると、期間中の古紙の投入量は17万8439キロで、前年と比較すると6・1%増。寄付金は35万6878円となった。

青森市の県民福祉プラザで行った贈呈式で、コープあおもりの菅原正理事長は、物価高が厳しい中でこども食堂を運営する方々を微力ながら応援したい―とキャンペーンの趣旨を説明し「今後も継続し、さらに賛同の輪が広がることを願う」と話した。

目録を受け取った県社協の高杉金之助会長は「県内の企業が仕組みを考えて、協同して取り組んでくれたのは本当にありがたいこと。大切に使わせていただく」と感謝した。

（若松有希）

青森県民生協